

令和8年度

自学自習の ススメ

京都市立紫竹小学校



1. はじめに

これからの社会では、自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力がますます重要になっていきます。子どもたちが、将来、自立して学び続けるためには、「自学自習の習慣」を身につけることが必要不可欠です。

本校では、教育目標「紫竹の風土、人の力に誇りをもち、自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成」のもと、日々の授業の中で子どもが学びへの意欲を高め、家庭学習につなぐサイクルの確立を目指します。

本手引では、学校での主な学習内容や、自学自習の習慣を身に付けるために、大切なことなどをまとめていますので、ご家庭での支援にお役立てください。

2. 本校における自学自習についての方針

自学自習で大切にしたいこと💡

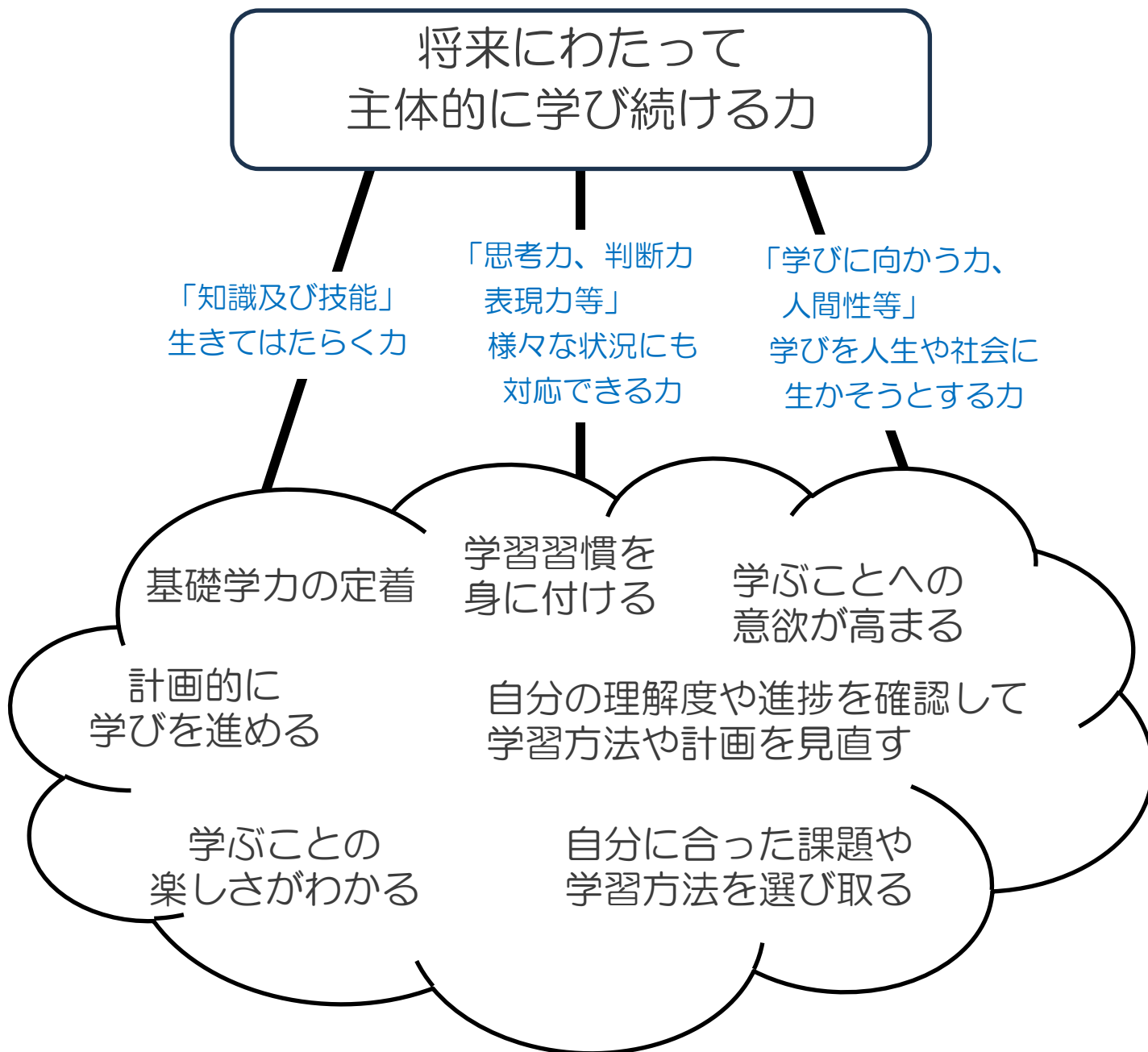
- 自分で学習の計画を立て、主体的に学びを進めましょう。
- 学校で学習したことを、教科書を基に、より深めたり練習したりしましょう。
- 自分が興味・関心のある物事について、調べてみましょう。自ら主体的に調べ、探究的な学びに取り組みましょう。
- スマートフォン・ゲーム等の使用時間に注意しましょう。
- 読書を通して、新しい知識、いろいろな感じ方、ものの見方、考え方に触れ、豊かな感性を育てましょう。

保護者の皆様へ

お子様の自学自習を支えるうえで、以下のようなことも大切にしてください。

- ご家庭で、「今日の授業の中でおもしろかったって思ったことはあった?」「学校の授業で学べたことを教えて?」といった声かけをしていただき、子どもが学んだことをアウトプットすることを大切にしてください。
- 学習に集中できる環境づくりを引き続き心がけてください。

3. 自学自習を通して目指す学びの姿



4. 学年ごとの目標や学習内容など

小学校1～2年生



学習内容の特色

- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする」といった、基本的な学習習慣を確立しましょう。
- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験します。
- GIGA 端末を使いはじめ、絵や文字をかいたり、簡単な入力を行います。



自学自習のポイント！

① 決まった時間に取り組む

帰宅したら取り組む、夕ご飯までに終わらせるなど学習の習慣をつけ、できたかどうかを家族で確認しましょう。

② 家族も一緒に！

ひとりで学習の内容や方法を決めることはまだ難しいので、家族が“一緒に”取り組みましょう。子どもが学習している時は、スマートフォンやテレビ等を切って、静かで集中できる学びの環境を整えること、「読書タイム」をつくることも効果的です。

子どもの話を最後までじっくり聞いて対話をたくさんすることなどを意識し、実践することがとても大切です。

③ 基礎基本の定着を中心に

学習した内容の復習をしたり、テストに向けて学習を振り返って取り組んだりするようにしましょう。

小学校3～4年生



学習内容の特色

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも 200 字ずつ)
- 算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+、-、×、÷)の基礎・基本を、徹底して学びます。
- GIGA 端末で文字入力や意見の交流等を行います。



自学自習のポイント!

- ① 自分が関心のある物事を調べたり、考えてみましょう!

既習内容を教科書を基に、自分が関心のあることを調べたり考えてみるなど、主体的な学習にも積極的に取り組むようにし、家庭学習のレベルアップを図っていくと良いでしょう。身のまわりの自然や社会の出来事にも関心を持てるようにしましょう。(京都市青少年科学センター、博物館、美術館に出かける等)

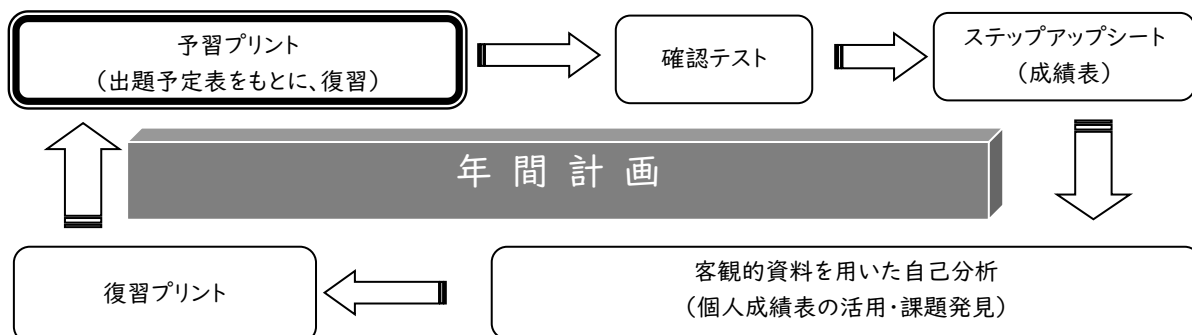
- ② ほかに子どもと比べず、「がんばり」をほめる!

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹と成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、積極的にほめましょう。

<「ジョイントプログラム」でステップアップ!>

- 小学校4年生から、「ジョイントプログラム(京都市小中一貫学習支援プログラム)」が始まります。出題予定表をもとに、学習計画を立て、復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。指摘された学習のポイントは繰り返し復習しましょう。

《実施サイクル》



小学校5～6年生



学習内容の特色

- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）をさらに深めていきます。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- 学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 授業支援ソフト等である程度の速さで文字入力したり、自分でファイルを使って共同作業をしたり、オンラインによるコミュニケーション活動に参加したりするようになります。



自学自習のポイント！

① 自主勉強ノートは見やすくまとめよう！

相手も自分も正しく読めるように文字はていねいに書きましょう。えん筆、消しゴム、定規など道具はきちんと使いましょう。人にみせることを意識すると、自分の考えをまとめて、ほかの人に伝える力がつきます。

② めあて→チェック→ふりかえり！

はじめに『めあて』を記し、自分が何に取り組むのかはっきりさせましょう。取り組んだ後は必ず『チェック』（答え合わせ）をしましょう。合っているのかどうか分かることで学習が定着します。最後は『ふりかえり』を書きましょう。次はどうすればよいかという計画性も身につきます。

③ 自分の力をのばすノートをつくろう！

学力アップのために、自分の苦手な問題やテストで間違った問題に再挑戦しましょう。どうして間違ったのか、しっかりふりかえることで次につながります。また、「なぜ？」と疑問に思ったことも調べてまとめましょう。自ら問いを立て、調べ、解決する力は、一生の宝物になります。